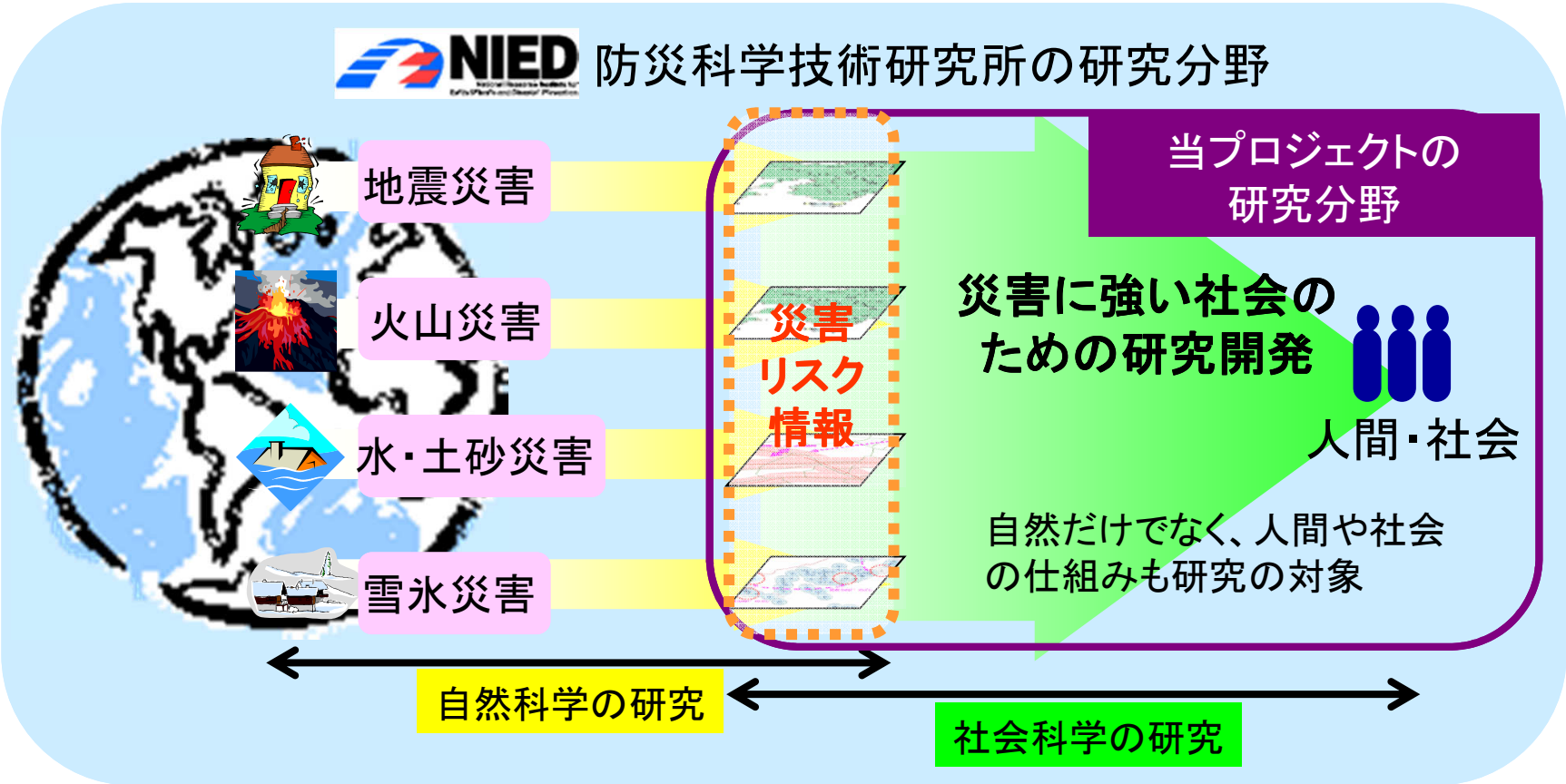
# 防災科研の紹介と
# 本シンポジウムの趣旨説明

(独)防災科学技術研究所
プロジェクトディレクター
臼田　裕一郎

NIED BOSAI-DRIP
National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention, Disaster Risk Information Project

# 防災科学技術研究所の位置づけと使命

- 文部科学省所管の独立行政法人
- 使命「防災科学技術に関する基礎研究及び基盤的研究開発等の業務を総合的に行うことにより、防災科学技術の水準の向上を図ること」




NIED BOSAI-DRIP
National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention, Disaster Risk Information Project

# 災害リスクに知で備える：理想的な地域防災の形

高潮・津波／地震／洪水・浸水／豪雪・雪崩／噴火／土砂崩れ・地すべり／etcの自然現象

**専門知**

災害に向かう「知」
（ハザードマップ、
緊急地震速報、等）

**経験知**

災害から受けた「知」
（教訓本、災害エスノグラフィー、等）

災害に対する自らの「知」（地域特性、災害文化、等）

**分散して存在する「専門知」や「経験知」を、個人や地域が自ら獲得・活用して、**
**「自分知・地域知」を高度化し、自ら「防災」を計画・実行する社会へ**

NIED BOSAI-DRIP
National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention, Disaster Risk Information Project

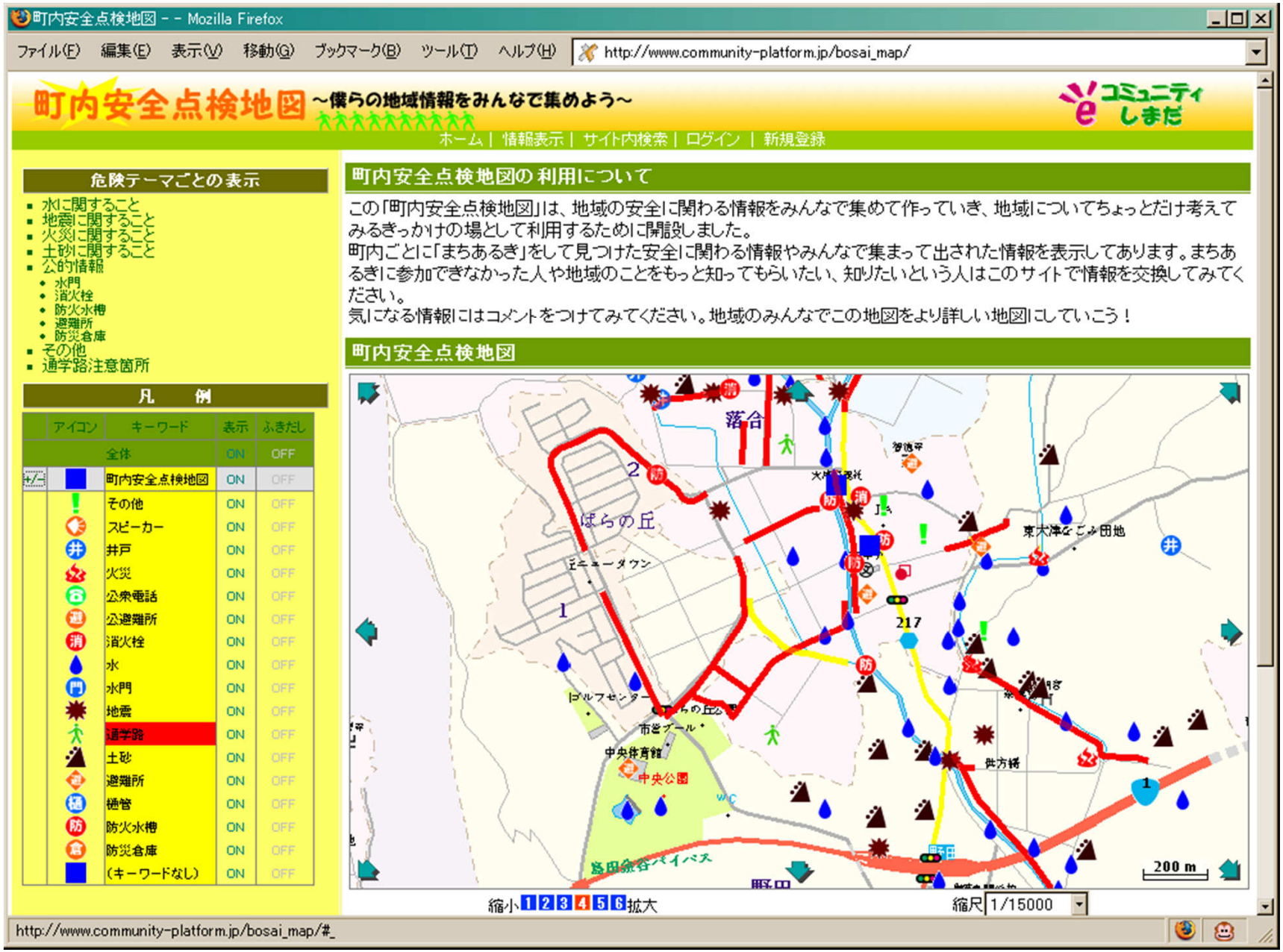
# 災害リスク情報の共有と利活用に関する研究

**災害リスク情報を利活用し、協働型で災害に強い社会を実現**

NIED BOSAI-DRIP
National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention, Disaster Risk Information Project

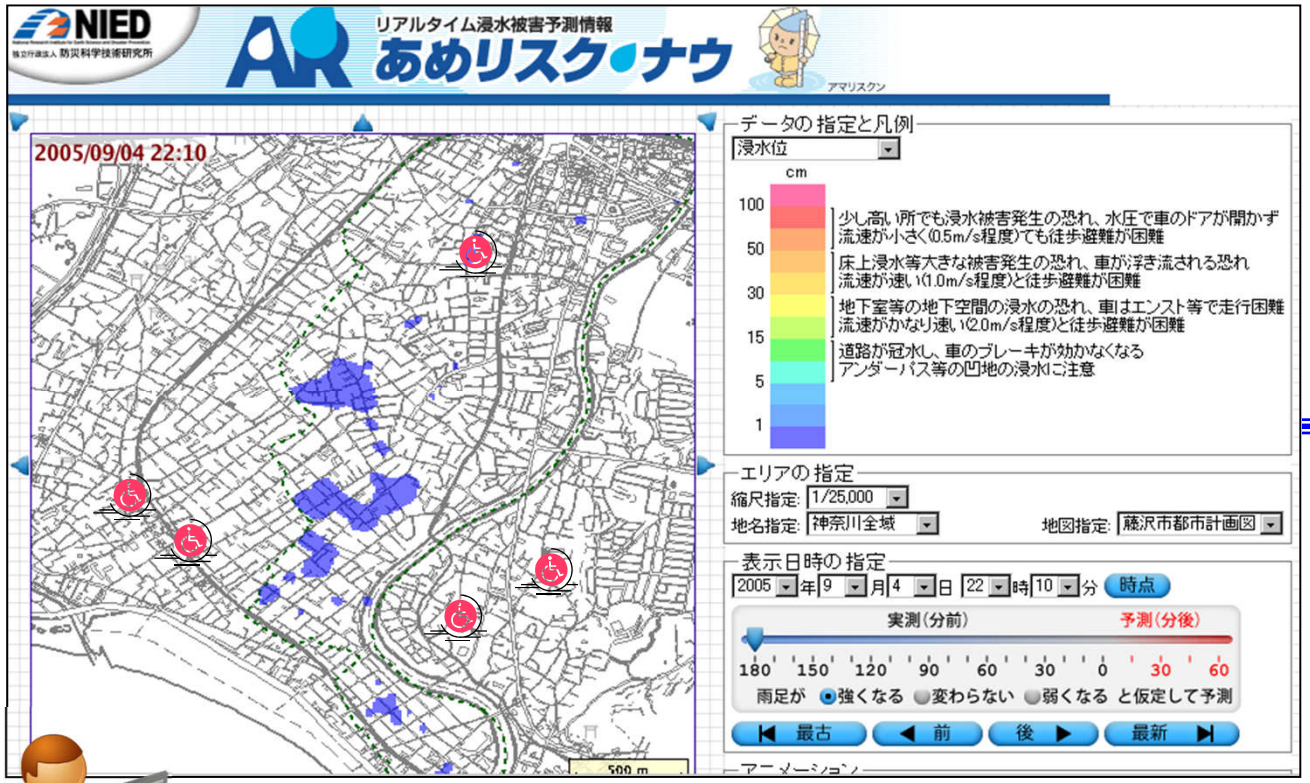
# はじめに:参加型地域防災の姿(2006)

# はじめに:参加型地域防災の姿(2006)



# 最も大事にしている概念…「相互運用性」

- 相互運用性（Interoperability）とは…
  - » 異なるシステム間でデータを相互にやりとりし、相互の認識を統一しながら、それぞれのやるべきことをやる
  - » 協働、ガバナンスのための情報基盤技術

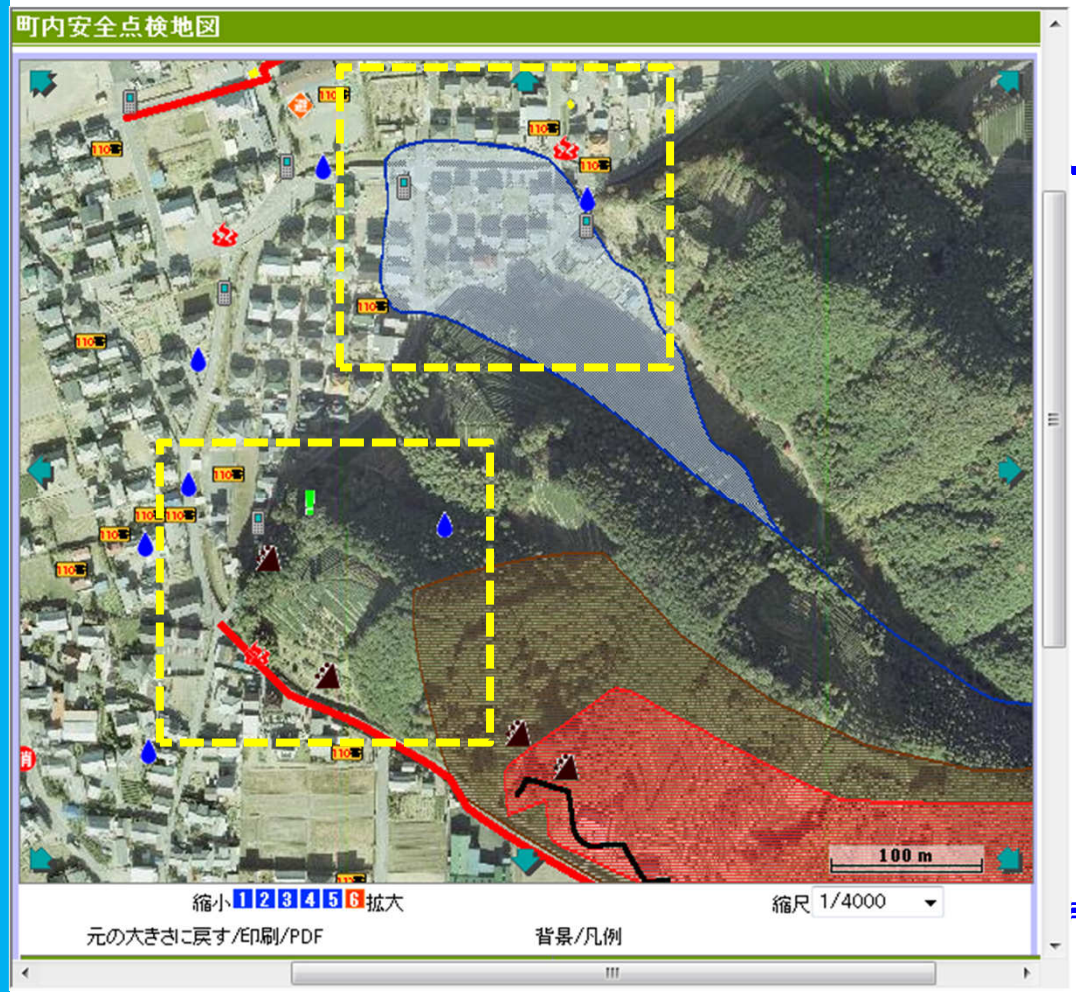


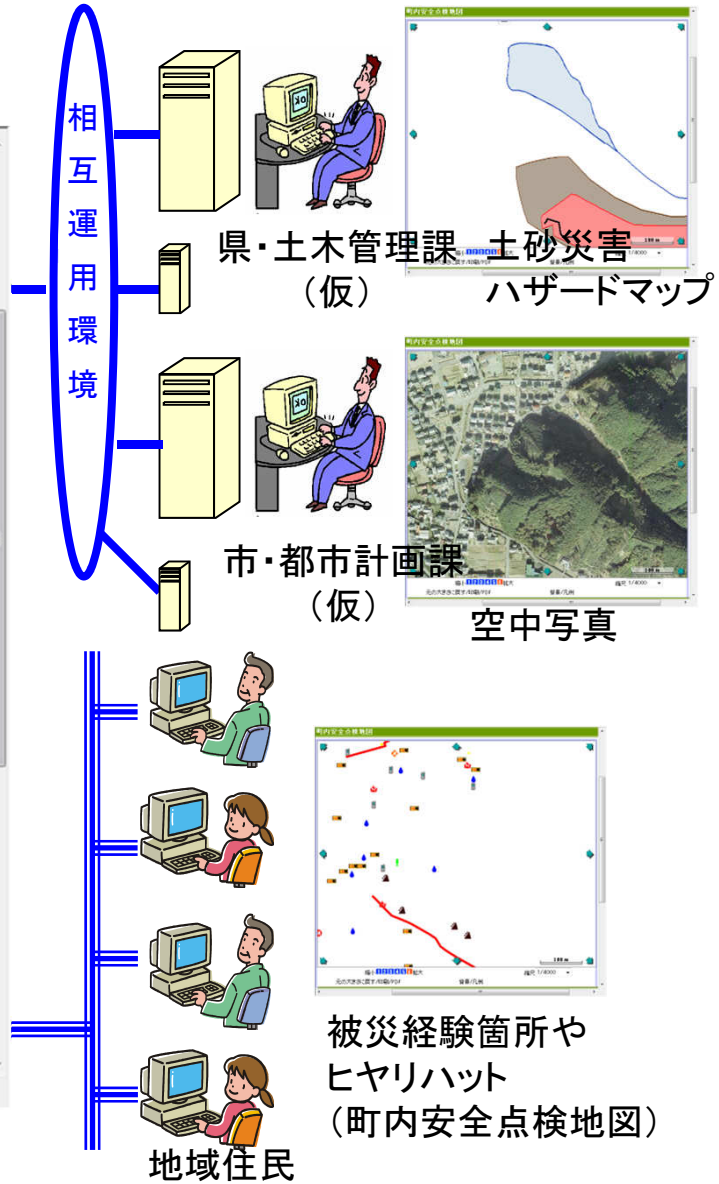
自治体のシステム

住民のシステム

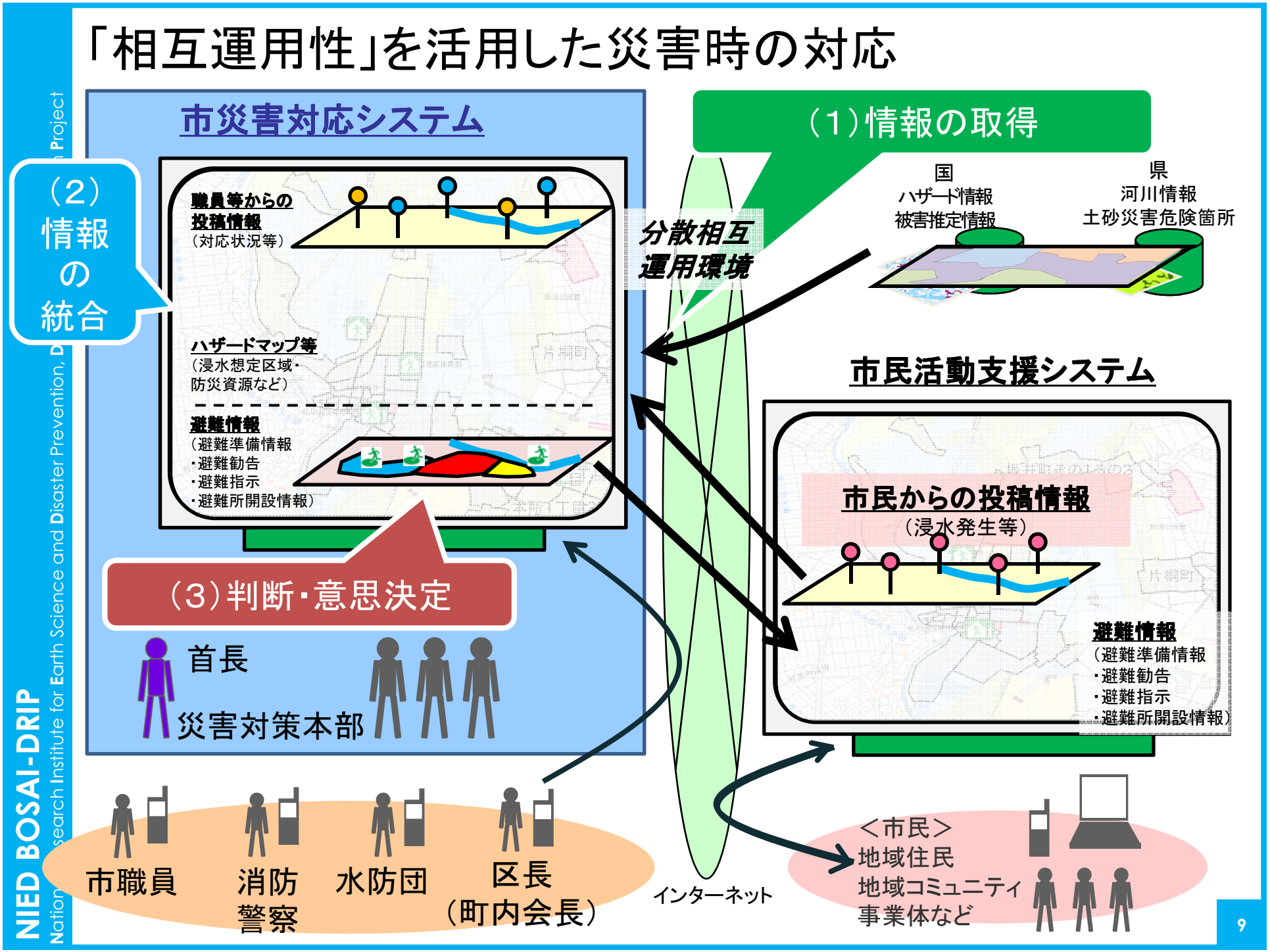
研究所のシステム

# 「相互運用性」を活用した平時における対策づくり



# 「相互運用性」を活用した災害時の対応



# 本シンポジウムで取り扱う利活用システム

①自治体向け
情報利活用システム

- 迅速・的確な災害対応
- 国・他自治体と情報共有
- 市民への情報伝達

…等々

③社会福祉協議会向け
情報利活用システム

- ボランティアセンター運営
- 災対本部とVCの連携
- 被災者生活支援

…等々

②住民向け
情報利活用システム

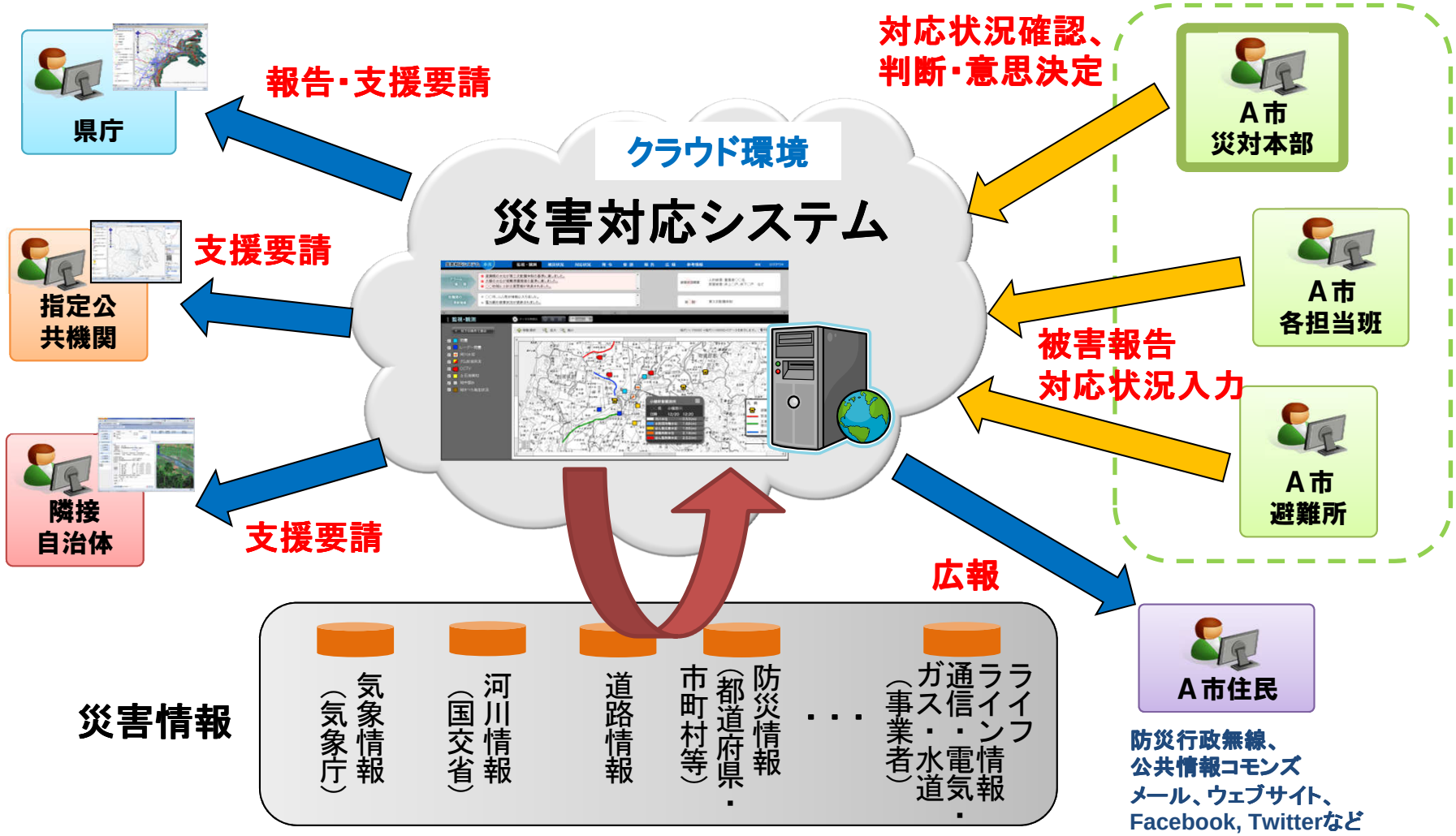
- 自主防災の促進
- ハザードマップ等の活用
- 地区防災計画策定支援

…等々

NIED BOSAI-DRIP
National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention, Disaster Risk Information Project

# ①自治体向け情報利活用システム

自治体における災害対応を高度化するための情報システムの開発と、国、NPO、民間等が協調・連携した災害対応を行うための標準的な情報共有の仕組みづくり



# ①自治体向け情報利活用システム

## ■「官民協働危機管理クラウドシステム」

- ✓ 平成26年3月に『市町村版』を無償公開
- ✓ さらに『都道府県版』や、通信途絶への対応ツールなどの高度化を継続

NIED BOSAI-DRIP
National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention, Disaster Risk Information Project

# ②住民向け情報利活用システム

- 地域の共助を平時から培うために、行政や隣接地域との相互運用を図り、地域内外の情報の収集、集約、発信、議論を行うことができるツール

## ←eコミグループウェア

ブログ、掲示板、RSS、問い合わせフォームなどの機能を持つWeb CMSです。

外部の様々な地図を下敷きにしながら、参加型の地図作成や印刷機能等を使って地域コミュニティ等の防災マップの作成支援をするWeb-GISです。

## eコミマップ→

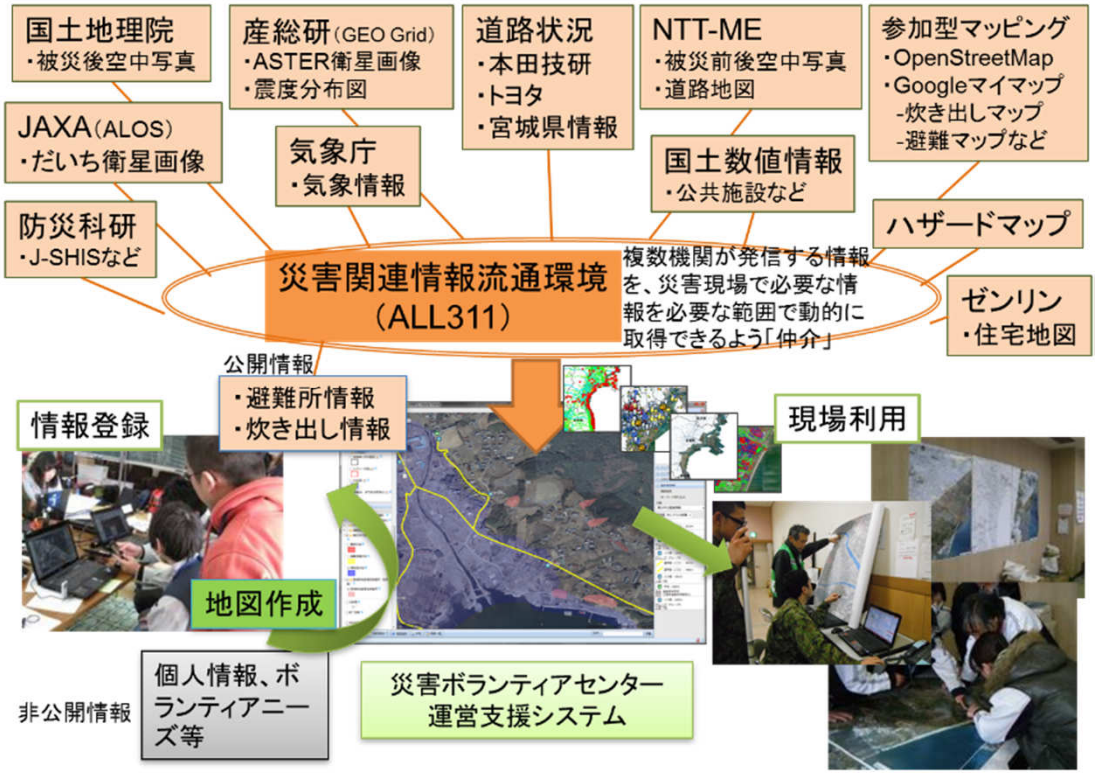
# ②住民向け情報利活用システム

NIED BOSAI-DRIP
National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention, Disaster Risk Information Project

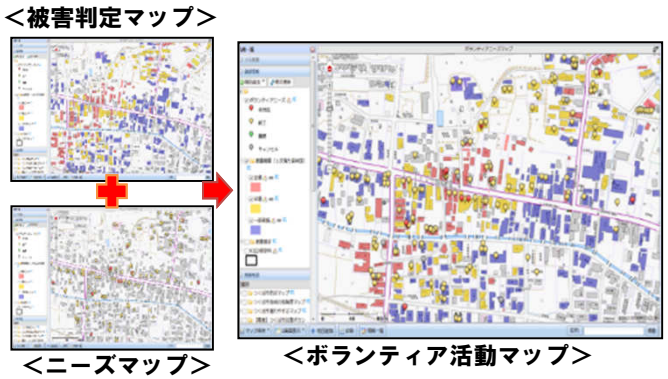
# ③社会福祉協議会向け情報利活用システム

## ■ 災害ボランティアセンター運営支援キット

東日本大震災において、行政や民間が把握・発信している情報を、災害ボランティアセンターで活用できるようにし、ニーズの把握とボランティアの派遣を一元管理できるシステムを提供




東日本大震災の対応における活用事例



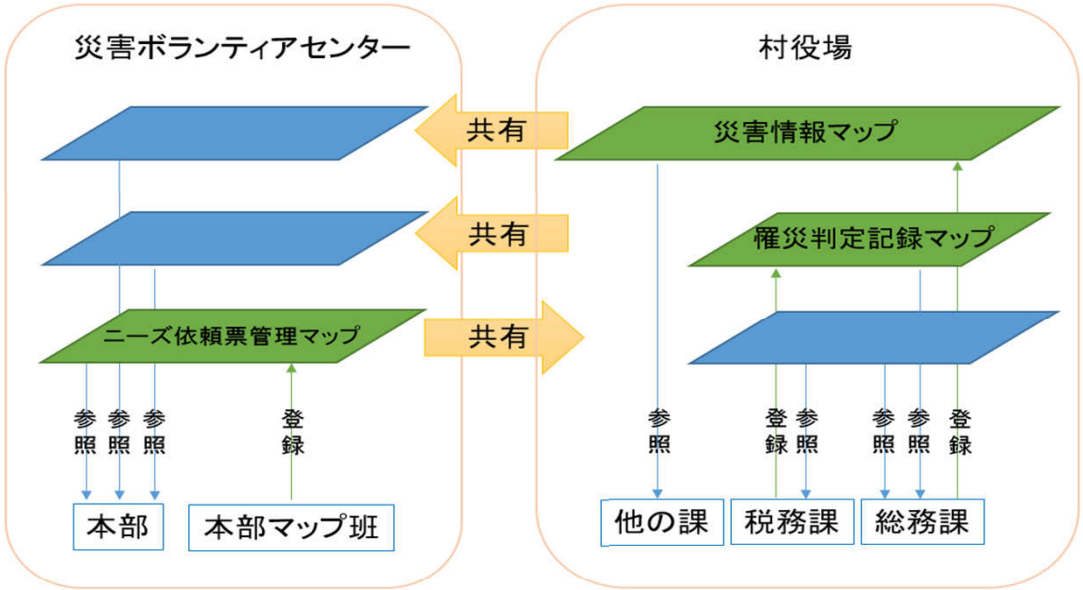
外部情報活用 → ニーズの受付 → eコミ登録 → 印刷・V派遣

つくば竜巻災害対応の活用事例

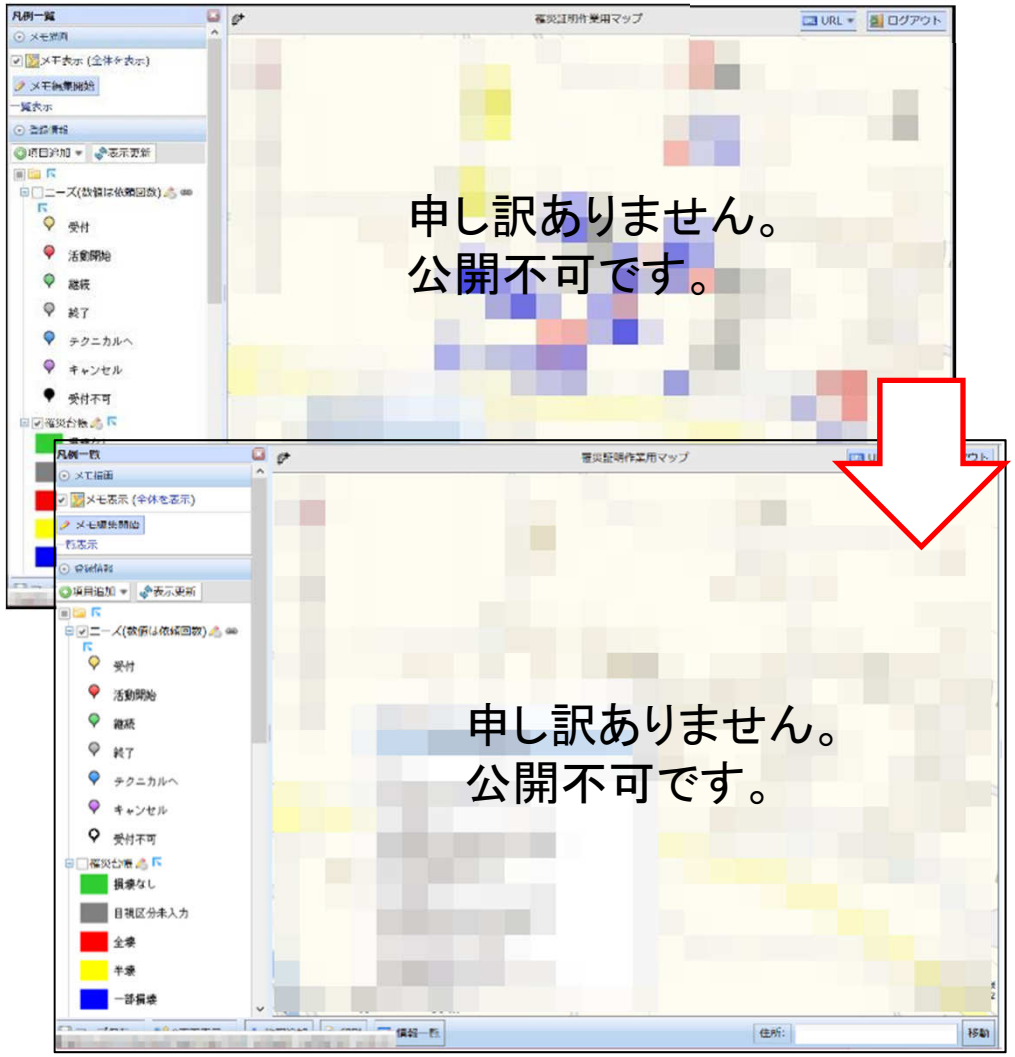
今年度は「広島土砂災害」や「長野県神城断層地震」の対応等で活用。

# 【速報】長野県神城断層地震の対応での活用（白馬村）

道路の通行止め箇所、避難所、避難指示エリアなど、役場が把握している情報をマッピング。これらは他の課は参照可能であり、災害ボランティアセンターにも共有



# 【速報】長野県神城断層地震の対応での活用（白馬村）




**被災台帳マップ（役場）**

被災家屋等の応急判定結果を色分け・可視化し、罹災証明書の発行や災害ボランティアの活動に必要な情報として活用。

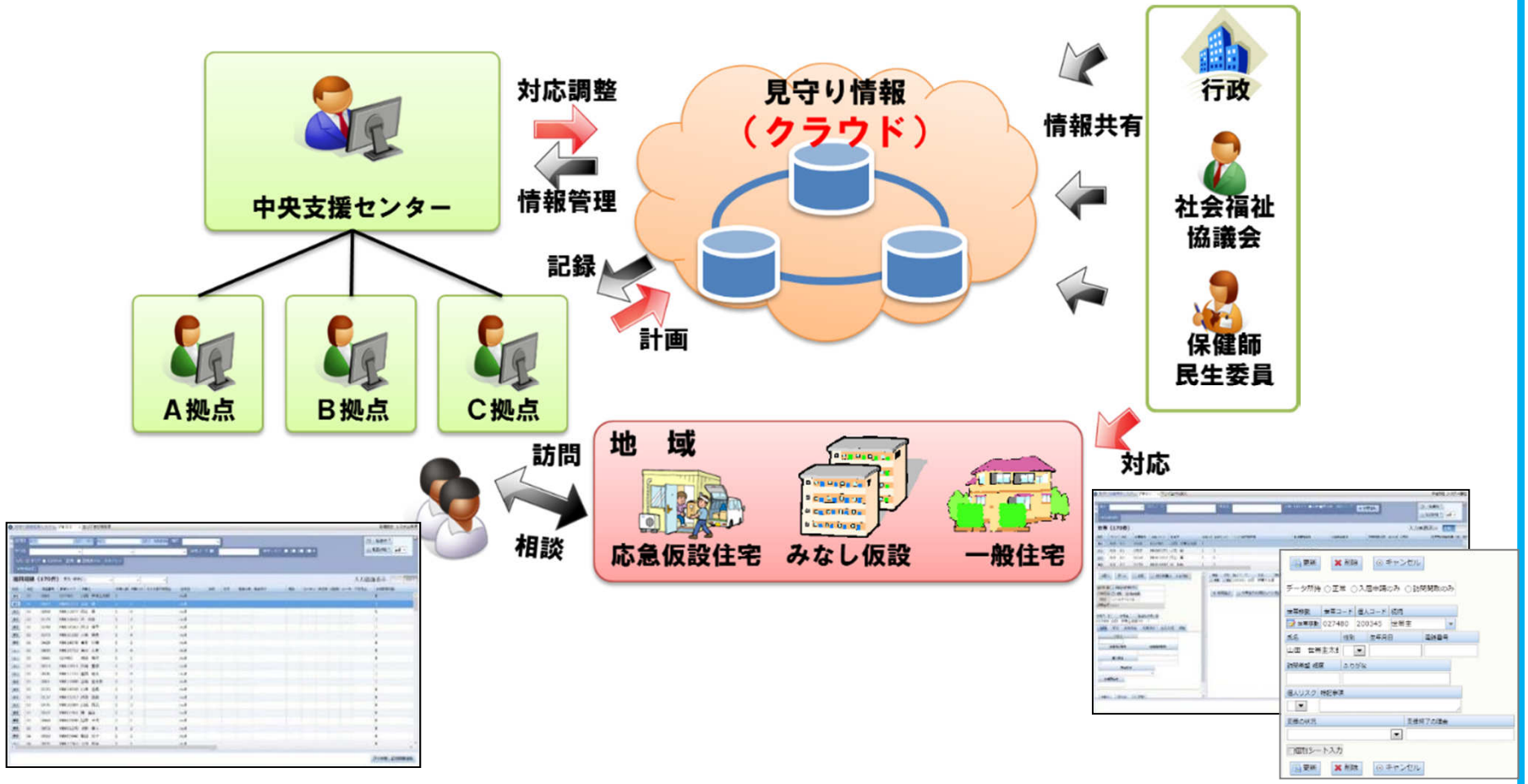
**ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾆｰｽﾞﾏｯﾌﾟ（社協）**

被災者から受け付けたボランティアの活動ニーズへの対応状況を色分け・可視化し、応急判定結果をもとにニーズ情報を印刷・提供・派遣し、支援活動の進捗管理。

# ③社会福祉協議会向け情報利活用システム

## ■「見守り情報管理システム」

宮城県社会福祉協議会と協力し、東日本大震災の被災者に対する包括的かつ効果的な見守りを支援するために、2011年7月より、被災者の見守りや支援に必要な情報がクラウド環境で共有・管理できるツールを開発



# テーマ別意見交換会（13:25-16:55）

途中入退室自由

## ■ タイムテーブル

**13:25～14:20　テーマ別意見交換会(1)**

①自治体向け情報利活用システム
②住民向け情報利活用システム
③社会福祉協議会向け情報利活用システム

休 憩（14:20～14:30）

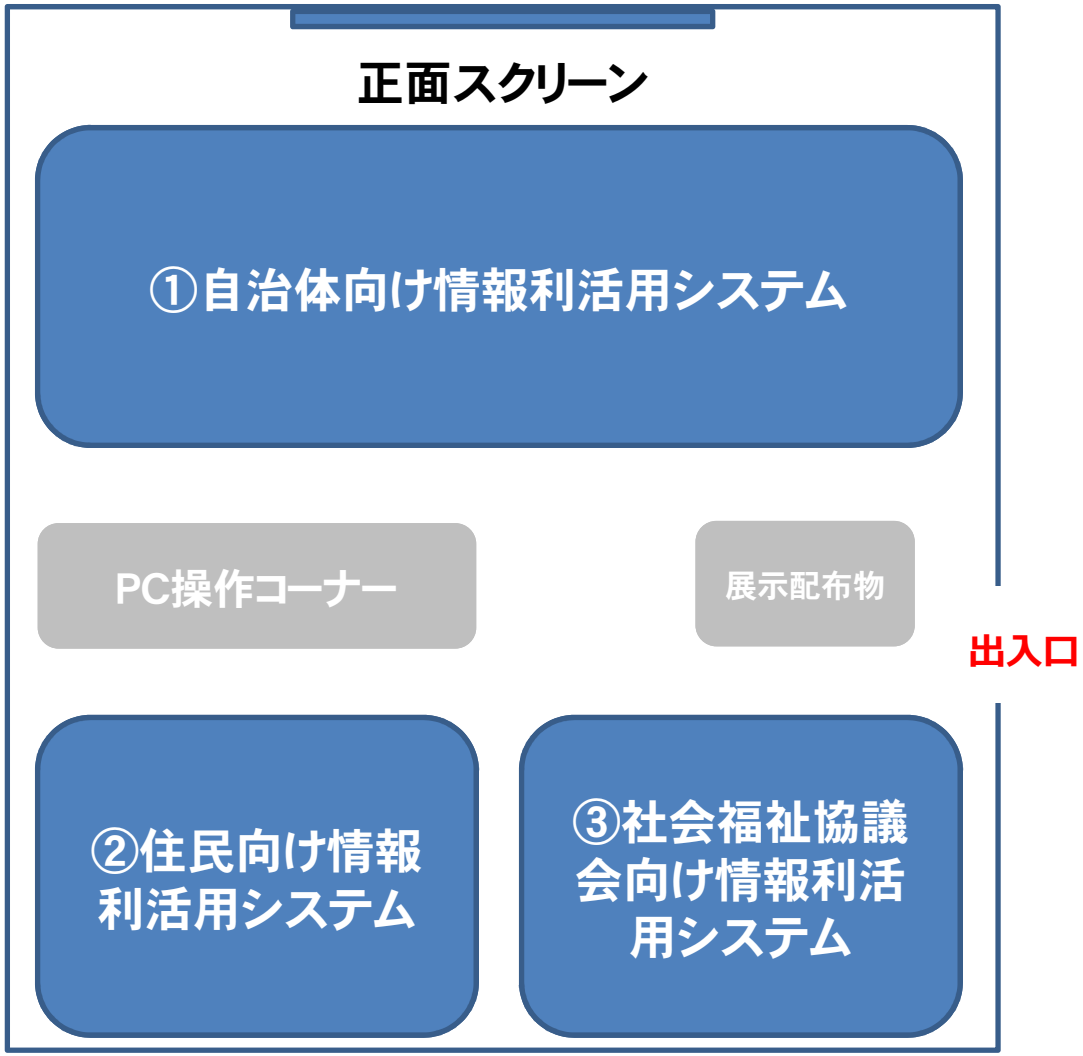
**14:30～15:25　テーマ別意見交換会(2)**

①自治体向け情報利活用システム
②住民向け情報利活用システム
③社会福祉協議会向け情報利活用システム

休 憩（14:25～14:35）

**15:35～15:55　全体交流会**

閉 会（15:55）

# テーマ別意見交換会（13:25-16:55）

## ■ 会場配置